

社說

ば更らに増税の必要を見るなどの不始末を招くのみか物價騰貴の餘勢にして跡を收めざる以上は内國の金融市場はますく逼迫の急を訴へて目下の困難を救濟するの道なきに至る可し現に今度の追加豫算に於ても物價騰貴の爲めに意外の増額を要する經費少なからず從來債金回収の方法を得ざる結果にして今後とも内國外の經費の財源を海外に求めんには物價の騰貴と金融の逼迫とを促し今日と同様の困難を見るふとならん斯くては増税を施行して經常歳入を増加するも財政整理の爲めには何の効能もなければ政府にして眞實整理の効を收めんとする以上は先づ臨時費の財源に關する方針を一變し償金を始め在外の正貨は外國拂に充つるの外一切内地への回収を止め償金并に公債を以て支辨可き豫定の内國拂の經費は其財源を増税に求むるなり或は其事業にして利殖の性質あれば金融の緩和を俟つて内債を募集するなり孰れにしても經濟社會の變態を避くるを以て財政整理の主眼とせざる可らず當局者にして既に増税を決断したる以上は更らに一步を進めて此邊の方針を確定し財政前途の困難を除く可し、我輩

電報

香港五月廿四日午後二時
廿三分西特派員發

マニラは封鎖中にて
通信全く杜絶し食糧
欠乏の爲め一時は大
き騰貴し平常の三倍
に至りたるも漸次回
復して下落の模様あ

マニラ市は未だ砲撃を受けず砲撃は必然なりと信じて難を避けたる人民も追々歸來し西班牙は唯中立諸國を頼みて砲撃を免れんとする

國籍法案

○貴族院議事(五月廿五日)

加藤弘之氏議長を呼び議席に於て述べて
く本案は最も重要なある議案にして充分に闇に關するものなれども今
を加へ且つ慎重に審議すべきものなれども今
折角第二議會に送拂みたるとなれども今
應特別委員に再調査を附託すべきに據へ經て
や賛成々々の聲あり渡正元氏は前九名の委員會に付託され
の外に六名を加へて十五名とすべしとの勧め
を提出し岡内重作・鍋島・鶴彬氏は前委員會再附
説を述べしが此時特別委員會たる谷千勝・比
再附託説には断然反對する聲となりて前説
て述べて曰く「是れも御坐らし如く字句讀むる
ケ敷かゞ我を當事者易に了解するに當り本
法難文は大抵此等如きものなりと承認れて

蜂起の模様なし
米國は陸兵とフ井リ
ツピンに送るべしと
の説あれどもカヴィイ
テの武庫を占領する
と同時に司令官デユ
ウエー將軍は一先づ
本國の訓令を仰ぐ事
とし電命の至ると待て
ち居れり形勢は頗る
平穡なり

見れば亦止むを得ず然るに之を修正せんとすれば全文悉く改めざる可らず我々は固より三の調査を盡したるふとなれば此上如何ぞすべき様なし故に再附託は御免を蒙るなり次に委員の一人たる小澤武雄氏も亦谷氏との意見を述べ三浦安氏は重要な議案にあり且つ再調査を爲すとて敢て差支なかるし故に加藤氏の説に賛成なりと云ひ岡部長氏は谷氏の説に同意し各自の意見區々紛々り依て議長は一應谷氏に向て委員は正當の由なくして辭するを得ざる旨を注意したる谷氏は正當の理由ありと信ずと叫ぶ議長加弘之氏の前委員再附託説に付き採決し少數宣旨せしに異議の申立あり依て指名點呼をふ其結果左の如し

總數百九十八 可とするもの 九十七 否とするもの 百一
即ち委員再附託説は少數にて否決したるにき次に渡正元氏の委員十五名説を起立に問んと宣告す時に久保田讓氏は改めて渡氏に成すとて理由を述べ曰く本員は敢て文書就てのみ云ふに非ず例へば第十六條の歸化の子又は日本人の妻子入夫と爲りし外國人有すべき權利に關しては最も重大なる關係あるを以てなりと夫より議長設氏の説に付き決せしに多數にて即ち前委員の外六名を加て再附託と爲すに決す

船舶法案（政府提出第一議會）

○西班牙艦隊の行衛

ゴに着したる西班牙の艦隊は僅に數日の量に過ぎざる石炭を搭載して同港を出發せり其行商は明あらう

○虞翁の國葬

前に安臥せしむる筈にて行はるべし(以上三井)

卷之三

計検査院不法處分并に會計検査院
る質問書を提出せられたるに付

廻送したる事及び委員姓名の報告ありて日程第一に入る。

加藤弘之氏議長を呼び議席に於て

く本著は最も重要なある議論にして充分に調査を加へ且つ慎重に審議すべき所のものなればこそ折角第二讀會に送達みたるふとなれども今一腰時刊委員と再開會と對托するに至りて是處

原物見立候に御前を御用意候事に關へ總て
や賛成々々の聲あり渡正元氏は前九名の委員
の外に六名を加へて十五名とすべしとの勅諭
を提出し國内實業家馬場氏は請書等再付

説を述べしが此時特別委員會たる谷千誠氏は
再附託説には断然反對する事のなりと前置
して述べて曰く「君の所告せし如く序句頗る大

ケ敷て、我々は其の島に立脚する事無くしておれ
ば法華文は大抵此分如きものなりと承られ工